

水滴がボール状になって転がり落ちる！

水切れバツグンの超撥水アンブレラ「コロント/colont」を販売開始

アンベル株式会社

2017年11月20日 10時

洋傘メーカーのアンベル株式会社(本社:名古屋市、代表取締役/辻野義宏)より、水切れバツグンの超撥水アンブレラ「コロント/colont」を2017年11月24日より自社オンラインストアにて販売開始致します

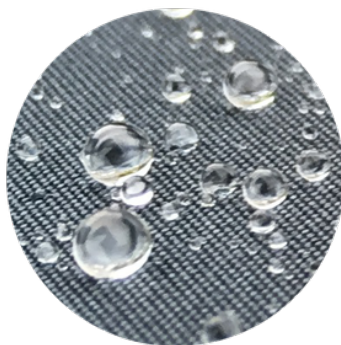


#### ◆開発に至った経緯

雨傘に関して「撥水性がすぐに無くなる」や「閉じた後の濡れや処理に困る」といった、“水切れ”に対する不満を多く聞きます。

そこで“水切れ機能”に特化した雨傘専用生地を開発いたしました。

#### ◆水滴がボール状になり転がり落ちる



従来の雨傘に使われている水滴の接触角は約90～110度。

接触角が小さいと水滴はドーム状になり、生地との接地面が大きくなります。接地面が大きいと生地に水滴が残留しやすくなります。弊社ではこの接触角に注目し、接触角が大きくなる生地を開発。

結果コロントの接触角は約 140 度。

接触角が大きいほど水滴は正円に近いボール状になり、雨傘の使用後に軽く2～3回振ればほぼ水滴が残らず、電車に乗るとき、クルマに乗るとき、カバンに収納するときには水滴が気になりません。

#### ◆水切れの良さが長期持続する

新品の傘を購入してしばらくの間は水切れが良かったが、しばらくたつと水切れが悪くなってしまった・・・  
そんな経験はないでしょうか？

水切れが悪くなる原因は、傘生地の上にコーティングされている撥水剤が劣化したり、剥離したりすることが原因です。

撥水剤の原料はクルマのワックスと同じ”フッ素”から作られており、劣化してしまうものです。

そこでコロントは撥水剤が剥離・劣化しやすいという点に着目し、撥水剤と生地を改良。

撥水剤はその粒子をナノレベルまで細かく改良。生地は高密度織りをすることで、繊維の隅々まで撥水剤が入り込みます。

その結果、撥水剤が剥離しにくくなり、水切れの良さが長期持続します。

第三者検査機関において撥水を人工的に劣化させる洗濯試験を 30 回繰り返し行いましたが、新品と同じ状態の撥水度 100 点という最高の結果が出ています。

#### ◆超撥水アンブレラ colont/コロント 商品概要

商品名：colont(コロント)

販売開始日：2017 年 11 月 24 日

タイプ：長傘1タイプ、折りたたみ傘1タイプ、計2タイプ

原産国：中国製

価格：4,000 円(税別)

商品紹介 URL：<https://www.umbrella-store.net/all-items/colont/>

販売サイト・販売店：自社オンラインストアのみ(2018 年春より専門店にて販売予定)

#### 【アンベル株式会社について】

本社：〒460-0002 名古屋市中区丸の内 2-10-11 リブラ丸の内 6-4F

代表者：代表取締役 辻野義宏

設立：2016 年 4 月

電話番号：052-228-9641(代表)

URL：<http://www.amvel.net/>